

# 民主島根

2021年  
10.10  
第1393号

発行所 松江市袖師町3-6 TEL 0852-24-2444  
日本共産党島根県委員会 FAX 0852-24-6369

## 志位・枝野党首会談で政権協力合意 「政権合意」を力に前へ

### 松江 党県議団、市議団が街頭から訴え



「比例は共産党へ」と訴える党県議団、松江市議団(松江市)

「安倍・菅自公政治」を継承する自民党の岸田文雄総裁が首相に選出された4日、松江市では、日本共産党の尾村利成、大國陽介の両県議、田中肇、舟木健治、橋ふみ各市議が商店街前で宣伝し、「目前に迫った総選挙で、日本共産党の躍進と市民と野党共闘の勝利で原発を動かさない政府をつくらう」と呼びかけました。

尾村利成県議は、岸田氏について「9年間の安倍・菅自公政治を閣僚として、党の幹部として中核で支えてきた」と指摘。総裁選でも原発再稼働や憲法9条改定を表明しているとして「党の表紙だけ変えても政治の中身は変わらない。自公政権を終わらせ、政権交代を実現するために、ブレずに共闘発展に力を尽くす日本共産党を大きく伸ばす」と訴えました。

### 大平 前衆院議員を再び国会へ 倉林副委員長オンライン集い

日本共産党島根県女性後援会と同県委員会は9月20日、倉林明子副委員長・参院議員を迎え、オンライン演説会&つどいを開きました。大平よしのぶ前衆院議員・衆院中国ブロック比例予定候補、むこせ慎一衆院島根2区予定候補が共に訴えられました。15会場で視聴されました。

倉林氏は、野党4党と野党共闘を求める「市民連合」が合意した共通政策に、核兵器禁止条約の批准や沖縄・辺野古の新

して「ください」と訴えました。むこせ慎一衆院島根2区予定候補は、浜田市内で宣伝しました。

基地建設中止などが入り、これまでの一致点をさらに前進させるものになっていくと強調。4月の参院広島再選挙での野党候補勝利、日本共産党と立憲民主党が躍進した東京都議会の変化は市民の世論と運動が作りだしているとし、野党連合政権実現へ一致点をつくりあげられるのも世論と日本共産党自身の頑張りだと指摘。「『比例は日本共産党』をわき目も振らず、

## 大國県議の「一問一答」 米の在庫対策を早く



日本共産党の大國陽介県議は9月27日、一問一答質問に立ち、県知事や県執行部をただしました。(2面に続く)

大國県議は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う外食需要の落ち込みで在庫量が激増し、県内産コシヒカリが60kg当たり2000円の下落となるなど深刻な事態が生じていると

質問に立ち、県知事や県執行部をただしました。(2面に続く)

衆院比例中国ブロックの議席奪還！政権交代を  
**日本共産党 街頭演説**  
10月15日(金) 11:00~11:30  
松江イオン前  
●大平よしのぶ前衆院議員、すみより聡美・党岡山県青年学生部長が駆け付けて訴えます。  
●YouTube「jcpshimane」でもオンライン配信。



## 鼓動

「百年生きた最晩年のこの歳になって、戦争時に負けないような、不気味な歳月を迎えてしまった。まさか、あの戦争のような凶運は二度とあるまいと思ってきましたから。」。京都の寂庵にこもる作家の瀬戸内寂庵さんがある新聞のエッセーに綴っている▼コロナ禍以前は、寂庵には多くの人が訪れて寂庵尼の法話に耳を傾け、ともに涙し笑いあっていた。元気をもらって帰っていった。しかし今は、感染防止のためすべての行事は中止し訪れる人はいない。寂庵さん自身も「人に会えなくなるのはつらい。今はとっつてもさみしい」と吐露。「でも、コロナによる孤独も苦しみも永遠には続きませんよ」と語る▼「生きることは、さみしさをなくさめ合うことです。お互いに孤独だからこそ、なぐさめてほしくって愛し合う。『にんべん』に『憂』と書いて『優しい』ですよ。人の憂いを慰めるのが優しい。人は優しさに弱いのです。戦時下の青年期を生き延び、その後、幾多の苦難を乗り越えた寂庵さんならではの慈愛に満ちた言葉だ▼コロナ禍による孤立化は心身への直接的な悪影響だけではない。写真家の藤原新也さんは免疫力低下によって新たな感染症の蔓延を懸念する。「無症状感染というコロナの高等戦略によって感染予防が長期化し、恒常化した非接触と消毒文化が腸内や皮膚に常在する細菌叢を脆弱化させる」という▼二歳を迎える孫娘は今夏、RSウイルスに罹患し保育所を休園した。昨年、抗菌環境下で幼児が免疫を獲得できずに抵抗力を失ったことが、今年、保育園内で多発している要因とみられている。(吉)